

## 平成23年度 第2回未来づくり推進本部会議

日 時 平成23年7月8日(金)  
午後4時～  
場 所 第三応接室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1) 各プロジェクトの取組状況と今後の進め方について

(2) その他

4. 閉 会

# 未来づくり推進本部に設置する「11のプロジェクト」

プロジェクト名	チーム長	主管部局
①鳥取県民参画基本条例検討委員会	未来づくり推進局長	未来づくり推進局
②雇用創造1万人プロジェクト	統轄監	商工労働部
③食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト	統轄監	農林水産部
④とっとり環境イニシアティブ推進プロジェクト	統轄監	生活環境部
⑤ようこそようこそIJU2千人推進プロジェクト	統轄監	企画部
⑥「まんが王国とっとり」建国推進委員会	副知事	文化観光局
⑦鳥取力創造運動推進プロジェクト	未来づくり推進局長	未来づくり推進局
⑧「支え愛」まちづくり推進プロジェクト	副知事	福祉保健部
⑨ボランティアシステム検討プロジェクト	副知事	未来づくり推進局
⑩北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト	【観光部会】副知事	文化観光局
	【物流部会】統轄監	商工労働部
⑪県庁改革推進プロジェクト	副知事	総務部



# 雇用創造1万人プロジェクト

<b>政策項目</b>	雇用創造1万人プロジェクト、中小企業底力アップ
<b>チーム長</b>	統轄監
<b>主管部局</b>	商工労働部
<b>目標・アウトプット</b>	<p>○あらゆる分野で「雇用創造1万人計画の策定」と「計画実現」を目指す</p> <p>《考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年間を一つの目標スパンとするが、できるだけ早期の達成を目指す。</li> <li>・「商工業」だけでなく、「農林水産業」、「観光」、「教育」、「福祉」、「医療」などあらゆる分野を対象。</li> <li>・民間参画による施策構築・点検を実施。</li> <li>・施策構築・点検に際して、雇用創造の面だけでなく、人材育成や雇用のミスマッチ解消策にも目配り。</li> </ul>
<b>県民参画の手法</b>	<p>○【計画検討の助言と県民運動】「雇用創造1万人推進会議」…プロジェクトの進め方についてコンセンサス形成と機運醸成、雇用環境の共通認識、計画策定に向けた助言（H23.7立ち上げ予定）</p> <p>○【計画案の検討】「雇用創造1万人プロジェクトチーム」…分野別パートナーシップ会議の民間委員を交えて計画（案）を検討（H23.8立ち上げ予定）</p> <p>○【各分野別の施策構築】「パートナーシップ会議（各分野別）」…既存会議等を活用し、分野毎に、雇用創造に向けた課題とその解決策について意見交換（H23.7までに立ち上げ予定）</p>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<p>[現在の取組]</p> <p>○分野別パートナーシップ会議での検討（雇用創造に資する現状施策の把握、今後の検討課題）</p> <p>[今後の検討スケジュール]</p> <p>7月：第1回 推進会議（キックオフ、雇用創造に向けた検討の視点等を意見交換）</p> <p>（8月：第1回 プロジェクトチーム（推進会議での意見整理、計画策定に向けた検討課題の設定）</p> <p>（10月：第2回 プロジェクトチーム（1万人計画（案）の検討）</p> <p>11月：第2回 推進会議（1万人計画（案）への助言）</p> <p>（12月：第3回 プロジェクトチーム（1万人計画（案）策定）</p> <p>⇒ 随時予算化の上実行</p> <p>※ 既存会議等を活用したパートナーシップ会議は、検討課題ごとに随時開催。</p>

# 食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト

<b>政策項目</b>	「食のみやこ鳥取県」の確立、やらいや農林水産業プロジェクト
<b>チーム長</b>	統轄監
<b>主管部局</b>	農林水産部
<b>目標・アウトプット</b>	○農林水産業の品目別PTと新たに検討するブランド化PTについて相互の連携、進捗管理などを行い魅力ある農林水産業の発展を促進
<b>県民参画の手法</b>	<p>○食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト会議《総括》          施策立案への意見・アドバイス、各分野PTの連携強化(8月上旬立ち上げ予定)          【構成メンバー】鳥取県農協中央会、全農とっとり、鳥取いなば農協、鳥取中央農協、鳥取西部農協、鳥取県森林組合連合会、鳥取県漁協、大山乳業、鳥取県畜産農協、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県生活協同組合連合会、市長会、町村会、鳥取大学</p> <p>○分野別ビジョンのプロジェクト、ブランド化プロジェクト《各分野》          分野別ビジョンのPDCA、ブランド化戦略の検討など(6~7月に立ち上げ)          ①新規就農 ②梨産業活性化 ③花き振興 ④芝振興 ⑤米 ⑥和牛 ⑦水産業活性化 ⑧緑の産業再生          ⑨ブランド化</p>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<p>○各分野別プロジェクトを順次立ち上げ検討を開始(各分野の検討スケジュールをもとに1回目の会議を開催済)</p> <p>○ブランド化プロジェクトでは、女子会メンバーを決定し、7月25日に立ち上げ会(鳥取市河原町において鳥取和牛オレイン55についての意見交換等)を実施予定</p> <p>○やらいや農林水産業プロジェクトを8月上旬に立ち上げて、年3回開催予定          (第1回:8月立ち上げ、第2回:11月中旬中間整理、第3回:3月中旬年度実績まとめ)</p>

# とっとり環境イニシアティブ推進プロジェクト

政策項目	とっとり環境イニシアティブ
チーム長	統轄監
主管部局	生活環境部
目標・アウトプット	<p>○「とっとり環境イニシアティブプラン」の作成(目標:H23.12月) (重点施策) ⇒「エネルギーシフト」、「環境実践の展開(省エネ実践)」、「循環社会(リサイクル推進)」</p> <p>○施策全般の点検と県民運動</p>
県民参画の手法	<p>【施策全般の点検と県民運動、全分野の施策とりまとめ】</p> <p>○県民参画による「とっとり環境イニシアティブ推進プロジェクトチーム」を設置(7月を予定)</p> <p>【分野別の施策構築】</p> <p>○県民参画によるWGを設置(プロジェクトチーム立ち上げ後に設置予定) ⇒「とっとり発エネルギーシフト戦略WG」、「省エネ実践検討WG」、「リサイクル推進検討WG」</p>
「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」	<p>【現在の取組】</p> <p>○PT及びWGの県民参画メンバーの選定中</p> <p>○庁内での議論開始</p> <p>【今後の検討スケジュール(予定)】</p> <p>○7月:PT設置(各WGで検討) → 10月:プラン概要版作成(パブコメ) →12月:プラン完成版作成</p>

# ようこそ ようこそ IJU2千人推進プロジェクト

<b>政策項目</b>	ようこそ ようこそ IJU(移住)2千人プロジェクト
<b>チーム長</b>	統轄監
<b>主管部局</b>	企画部
<b>目標・アウトプット</b>	<p>H26までの4年間で、2000人以上の移住者の受入(年間平均500人以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野における移住定住施策と現場とのミスマッチ項目の洗い出し</li> <li>・現場が必要とする支援と各施策の調整</li> <li>・IJUターン希望者、実践者、市町村、受入団体、関係民間団体等との協働による「新たな連携・支援策」の案の作成</li> </ul>
<b>県民参画の手法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各分野・課題別に県民、市町村、県によるワーキング部会を設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>①「住宅等田舎暮らし支援」部会、②「就職支援・学生定住」部会、</li> <li>③「農林水産業等就業起業支援」部会</li> </ul> </li> <li>○各部会代表者(県民、市町村、県)等によるプロジェクトチーム全体会を設置</li> </ul>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内プロジェクトチーム会議(暫定PT)の開催(6/6)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の取組と課題、目標達成に向けた進め方について意見交換 → ワーキング部会構成メンバーの選出</li> </ul> </li> <li>○ワーキング部会             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回部会を7月開催予定 …… 部会目標を検討</li> <li>・目標達成に向けた取組検討を行うためプロジェクトチーム全体会と連携し、随時開催</li> </ul> </li> <li>○プロジェクトチーム全体会             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回全体会を8月開催予定 …… 各部会報告、全体協議</li> <li>・当初予算要求にこだわらず、現場の実情に即した早期の課題解決に向けた取組を行う</li> </ul> </li> </ul>

# 「まんが王国とっとり」建国推進委員会

<b>政策項目</b>	「まんが王国とっとり」建国推進委員会
<b>チーム長</b>	副知事
<b>主管部局</b>	文化観光局
<b>目標・アウトプット</b>	○「まんが王国とっとり」の確立に向けて、県が担うべき役割、まんが・アニメの情報発信施設など必要な拠点整備について検討し、その方向性を定める。
<b>県民参画の手法</b>	○民間の方も参画した「まんが王国とっとり」建国推進委員会を設置し、県が担うべき役割及び必要な施設の整備方針について検討。(H23.7.15立ち上げ予定) 庁外メンバー:里中満智子氏、赤井孝美氏、和田収氏、寺西竜也氏 小坂俊夫氏 *その他、明治大学、鳥取大学、鳥取環境大学に推薦を依頼中
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	○7月15日(金) 第1回建国推進委員会開催 ○8月末頃 第2回建国推進委員会開催 ○9月末頃 第3回建国推進委員会開催 ・今後の取組の方向性と取組内容、必要な施設の整備方針を取りまとめ ○～年度末 引き続き、これまでの検討を踏まえた個別施策案について意見を伺いながら当初予算編成等



# 鳥取力創造運動推進プロジェクト

<b>政策項目</b>	鳥取力創造運動の展開
<b>チーム長</b>	未来づくり推進局長
<b>主管部局</b>	未来づくり推進局
<b>目標・アウトプット</b>	<p>①実践登録団体数をH26年度末までに200件に増加させる。(年次目標:各年度33団体以上追加)</p> <p>②活動団体の継続的な運営に有効な支援施策を構築する。(年次目標:団体等の意見を踏まえた支援策の立案・実施)</p> <p>③活動団体、企業、行政同士が連携するために有効な支援策を構築する。(年次目標:②に同じ)</p>
<b>県民参画の手法</b>	<p>【構成メンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な地域づくり活動実践者(鳥取力創造キャビネットの委員を予定)</li> <li>・市町村</li> <li>・県関係課</li> </ul> <p>○出前鳥取力創造トークの実施          地域づくりの実践活動における現状や課題について意見交換・ネットワーク構築</p> <p>○新しい公共支援事業(モデル事業)への参加</p>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<p>7月～ ○第1回鳥取力PT(取組内容の意見交換等)</p> <p>■出前鳥取力創造トークの実施(7月、12月、2月 総合事務所単位)</p> <p>○第2回、第3回鳥取力PT(出前鳥取力創造トークでの意見分析、課題の整理)</p> <p>11月頃 ○第4回鳥取力PT(制度・予算反映への検討)</p> <p>1月頃 ○第5回鳥取力PT(新年度の取組総括)</p>

# 「支え愛」まちづくり推進プロジェクト

<p><b>政策項目</b></p>	<p>「支え愛」まちづくりの展開</p>
<p><b>チーム長</b></p>	<p>副知事</p>
<p><b>主管部局</b></p>	<p>福祉保健部</p>
<p><b>目標・アウトプット</b></p>	<p>住民誰もが住み慣れた地域で、地域のつながりやふれあいの中、安全・安心に生活が続けられるまちづくりのために、次の体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○独居の高齢者や障がい者等援護の必要な方への「生活支援や見守り」の体制</li> <li>○援護の必要な方が「災害時等に速やかに避難」ができる体制</li> <li>○住民誰もが、住み慣れた地域で「安全・安心」に暮らせる体制</li> </ul> <p>【H23アウトプット】「支え愛」まちづくり普及啓発事例集作成・コンセプトづくり →H24以降まちづくりの実践につなげる。</p>
<p><b>県民参画の手法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTの構成員として参画（立ち上げ時期：7月下旬） 自治会、社会福祉団体、有識者等が参画し、課題とその解決策を検討。</li> <li>○「支え愛」まちづくり具体化のための作業部会への参画（立ち上げ時期：8月上旬） 作業部会を設置、議題に応じて、PTの構成員（県民等）が参画、また必要に応じてそれ以外の県民・団体等にも参画依頼し、意見を反映させる。</li> </ul>
<p><b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b></p>	<p>【現在の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プレPTの開催（5/30）：PTの方向性、今後のスケジュール、協議すべき議題について検討。</li> </ul> <p>【今後の検討スケジュール】</p> <p>PTで活動の方向性を決定し、部会で具体化のための作業を実施。（次期中山間地域対策検討懇談会安全安心部会とも連携。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○PTの開催（時期：第1回（7月下旬）、第2回（10月）、第3回（24年3月）） 内容：「支え愛」のまちづくりのコンセプト検討（第3回で確定）、中山間地域の交通弱者対策推進の検討</li> <li>○支え愛のまちづくり具体化のための作業部会の開催（時期：随時） 内容：先進事例収集、個別課題検討（コンセプト、普及、見守りネットワークの構築、災害時等の対策等）</li> </ul>

# ボランティアシステム検討プロジェクト

<b>政策項目</b>	ボランティア活動等の推進、シニア人財活用	
<b>チーム長</b>	副知事	
<b>主管部局</b>	未来づくり推進局	
<b>目標・アウトプット</b>	○総合ボランティアバンク、シニア人財バンクなど、県民のボランティア参加のシステムを構築する。	
<b>県民参画の手法</b>	○ボランティア活動に関するバンクを活用・参加する民間団体等から参画。 【構成メンバー】 ・ボランティア活動に参加している方 ・ボランティアを募集している方 ・ボランティアのマッチングを行っている団体等 ・市町村 ・県関係課	
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	7月～ 9月頃	○第1回ボランティア活動PT、団体等へのヒアリング、先進地視察 ○第2回ボランティア活動PT (意見交換等の結果報告、課題等の整理)
	11月頃	○第3回ボランティア活動PT (制度・予算反映への検討)
	1月頃	○第4回ボランティア活動部会(新年度の取組総括)

# 北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト(観光部会)

<b>政策項目</b>	北東アジアゲートウェイの推進(外国人観光客を倍増)
<b>チーム長</b>	副知事
<b>主管部局</b>	文化観光局
<b>目標・アウトプット</b>	<p>①外国人観光客の誘客促進  H23・・・外国市場(韓国除く)の誘客戦略構築、推進体制整備を重点的に行う  H24・・・H23に構築した推進体制により、外国人観光客倍増(年間3万人)を目指す</p> <p>②米子ソウル便、環日本海貨客船(旅客)等航路・航空路の利用促進  H23・・・原発事故の風評などによる利用落ち込みの回復、路線安定を図る  H24・・・米子ソウル便については過去最高を上回る利用実績(H13:26,393人)、環日本海貨客船についてはDBS社計画一便あたり200人を上回る実績を目指す</p>
<b>県民参画の手法</b>	<p>①「国際観光アクションプログラム」における県民参画によるワーキンググループを設置し、意見・成果を当該PTへ反映(H23.7月立ち上げ予定)。</p> <p>②山陰国際観光協議会(H21.5設置)によるアウトバウンドの利用促進、米子ソウル便と環日本海貨客船との併用利用の促進。</p>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<p>①ワーキングメンバー予定者への打診を開始し、ワーキングを7月に立ち上げ予定。  ⇒ 今後は、ワーキングの実施結果(成果)について、10月頃に中間の取りまとめ、2月頃、最終とりまとめを行い、それぞれの成果をPTへ報告し、県の予算、施策へ反映。</p> <p>②山陰国際観光協議会において、安全・安心の情報発信や観光PRによる風評払拭のための取組を実施中。  ⇒ 今後は、個人旅行対策を強化することで、外国人観光客の入り込みを震災前よりも増加させていくとの目標を実現するため、観光関係者などと連携し、メディア、旅行会社などへの本格的なプロモーション等により巻き返しを図っていく。</p>

# 北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト(物流部会)

<b>政策項目</b>	北東アジアゲートウェイの推進(境港を通じた物流の活性化等)
<b>チーム長</b>	統轄監
<b>主管部局</b>	商工労働部
<b>目標・アウトプット</b>	<p>①境港を通じて物流が動く仕組みづくりの推進による貨物誘致、企業誘致、定期航路の拡充  (目標(当面H23)→H23.12を目途に、電機・電子・機械系企業に対応可能な高度物流サービスを提供)</p> <p>②県内企業の販路拡大による貿易促進  (目標①→H25年度当初までに、貿易支援機関一元化を実現)  (目標②→H23年度末までに、海外県産品ショップを3ヶ所以上確保)</p> <p>③環日本海貨客船航路運航の安定化  (目標(当面H23)→DBS航路の日韓区間、ロシアからの帰り荷について、H23年度末までに倍増)</p> <p>④港湾・施設等の整備促進  (目標①→H30:境港の取扱貨物量530万トン)(目標②→H27:リサイクル貨物8倍増(17万トン))</p>
<b>県民参画の手法</b>	<p>○PT会議に、適宜、既存の民間組織等から専門家や県内企業等の参画を求める。</p> <p>○個別の目標(課題)については、既存の民間組織等(環日本海経済活動促進協議会、鳥取県東部地域企業の境港利用に関する課題検討会、境港リサイクルポート推進協議会等)に適宜、提案や意見を求め、その内容をPT会議に反映させる。</p>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月31日に第1回PTを開催。各目標(4つのテーマ)毎に具体的な施策を検討中。</li> <li>・8月～10月PTの開催。各目標を達成するために必要な施策の検討。</li> <li>・11月上旬 第4回PTの開催。最終取りまとめ。当初予算要求する施策案の決定。</li> </ul>

# 県庁改革推進プロジェクト

<b>政策項目</b>	お役所主義の打破と筋肉質で効率的な県庁づくり
<b>チーム長</b>	副知事
<b>主管部局</b>	総務部
<b>目標・アウトプット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県庁改革推進WG <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23の時間外勤務をH21比で半減させる。(H22比△32%)</li> </ul> </li> <li>○無理・ムダ追放WG <ul style="list-style-type: none"> <li>・全所属がカイゼンに取り組み、カイゼンによる時間外削減を1.5万時間、書類を30%削減、事務用品を1/3に削減させる。</li> </ul> </li> <li>○庁風改革WG <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会に全所属の1/2のチームが参加、各人の社会貢献活動年2回以上、あいさつ、笑顔満開</li> </ul> </li> </ul> <p>※5/18県庁改革推進PT会議で目標設定</p>
<b>県民参画の手法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ダイバーシティなどで先進的取組をしている企業から講師を招いた研修会を計画</li> <li>○カイゼン発表会(企業の招待発表と民間審査員による評価)</li> <li>○事業棚卸(民間評価者を加える)</li> <li>○地域の社会貢献活動に参加する</li> </ul>
<b>「現在の取組」・ 「今後の検討スケジュール」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6/22～9/30 サマータイム(夏季特例勤務)</li> <li>○7/7 幹部会議でさらに時間外縮減の取組の徹底・推進</li> <li>○7/15 カイゼントップセミナー(広く企業、県民の方にも案内)</li> <li>○8/3庁内スポーツ大会(本庁、東部、八頭)</li> <li>○カイゼン実施中(新たに「仕事の見える化」、12月カイゼン発表会(カイゼン大賞))</li> </ul>

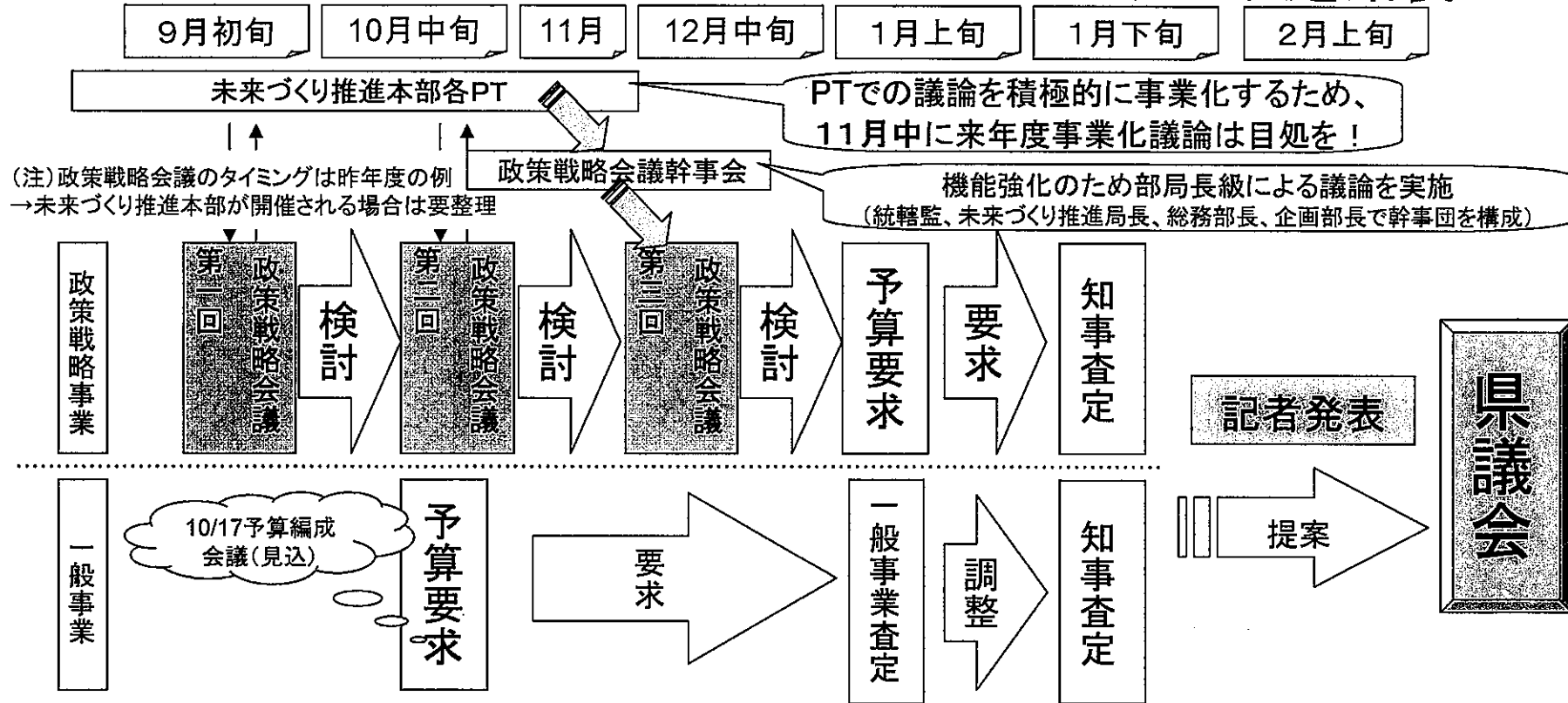
# 未来づくり推進本部と連動した来年度当初予算編成スケジュール(案)

資料2

財政課 H23.7.8

## ※ 「パートナー県政」を体現した来年度当初予算を戦略的に策定

### ○ 予算編成の方式⇒原則として知事による一発査定を踏襲



### ○ H24当初予算における政策戦略事業(素案)

⇒ 未来づくり本部各PTによる議論を経た事業 + α

現課が要求しやすく  
事業が沸き上がる  
スタイルを今後検討

※マニフェスト実現に向けたアクセル役として「未来づくり推進局」の位置づけに即して10月までに整理